

キャラクター名	プレイヤー名
アリエス	

メインクラス	メイジ	Lv.1:		レベル	12
サポートクラス	メイジ	Lv.1:	メイジ	性別	女
称号クラス				年齢	17歳
種族	エルダナーン			境遇	裏切り
出自(効果)	前科者			目標	強制

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	7	10	16	25	18	12	7
ボーナス	2	3	5	8	6	4	2
クラス修正	0	0	0	2	2	2	0
他修正							
能力値	2	3	5	10	8	6	2

HP	71
MP	115
フェイト	6

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	マジックスタッフ	至近	-1	2	0	0	0	0	0
左手									
頭部	マジカルハット					3			
胸部	黒のローブ					4			
補助	マント					1			
装身具	ファッキンバードの羽飾り								
能力値			3	0	5	0	6	13	7
スキル									
その他									
総計(右)			2	2					
総計(左)					5	8	6	13	7
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	8			8	+ 2 d
トラップ解除	3			3	+ 2 d
危険感知	8			8	+ 3 d
エネミー識別	10			10	+ 3 d
アイテム鑑定	10			10	+ 2 d
魔術判定	10			10	+ 3 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
	ハイHPポーション
	ハイMPポーション
	ハイMPポーション
	EXハイHPポーション
グリモア	EXハイHPポーション
法螺貝	
バックパック	
ハイMPポーション	
ハイMPポーション	
ハイHPポーション	

現在重量:	9		
最大重量:	12	所持金:	48217
		預金・借金:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
マジックセンス	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 作成時に知力基本値+3								
マジシャンズマイト	★	-	パッシヴ	-	自身	自動成功		
効果: 魔法攻撃のダメージに+[SL]Dする。								
エアリアルスラッシュ	★	6	メジャーアクション	20m	単体	魔術判定		
効果: 攻撃の魔術判定に+1D、ダメージは[2D+5] (〈風〉属性の魔法ダメージ)								
ファイアロード	○	-	パッシヴ	-	自身			
効果: 〈火〉属性の魔法ダメージに+[SLx4]する。								
ファイアボルト	★	6	メジャーアクション	20m	単体	魔術判定		
効果: 対象に魔法攻撃。その攻撃のダメージは[2D+10](〈火〉属性の魔法ダメージ)。								
マジックフォージ	◇	3	ダメージロールの直前	-	自身	自動成功	シーン1回	
効果: 攻撃のダメージに+[(SLx2)D]する。								
マジックブラスト	◇	3	ムーブアクション	-	自身	自動成功		
効果: メジャー・単体・魔術を「対象:範囲[SLx2]体」に変更する。メインプロセス終了まで持続。								
リゼントメント	★				自身	自動成功	シナリオ1回	
効果: 対象:単体、ダメージに+[CLx10]								
コンセントレイション	★				自身			
効果: 魔術判定に+1D								
エンチャントウェポン(火)	★	5	メジャーアクション		単体	魔術判定		
効果: 対象の武器攻撃を魔法ダメージに変更								
ブーストマジック	★	5	マイナー		自身	自動		
効果: 魔法攻撃のダメージに+感知 メインプロセス終了まで								
ビジュランテ	1				自身			
効果:隠密状態のキャラクターを発見しようとする、あるいは隠密状態のあなたを発見しようとしている対象との対決の【感知】判定に+1Dする。								
モンスターロア	1		パッシヴ					
効果: エネミー識別判定に+1D								
効果:								
効果:								
効果:								

【出自】
とあるエルフの国の王族の分家に生まれる。その頃、本家と分家の仲が著しく悪化していた。彼女が13歳となる時、分家が周辺の競合各国と手を組み国家転覆を企んでいるとの虚偽の噂が流れ、分家一家およびそれに関わる者たちは捕らえられ、処刑される。彼女は執事により助け出され、逃げた先で執事とともに小さな農家として生業を立て平穏な生活を送っていた。執事は彼女を美の子供のように育てたが、彼女の出自について話すことはなく、彼女もそれを知ることはなかった。執事は彼女を学校に通わせていた。彼女の学校生活は順風満帆。周りとも仲も良く、成績もよく教師からの信頼も厚かった。彼女も周りも、互いを信頼していた。

12歳の誕生日。街へと繋がる街道には雪が降り積もっていた。いつものように学校に向かう彼女に、国の兵士らが襲いかかった。状況が理解できない彼女。執事から教わっていた荒削りな魔法で抵抗するもむなしく、彼女は捕えられた。時間ごとくして執事も自宅に捕らえられた。先述の分家処分での虚偽的な処刑はがいかげなものと世論に臆していた国家は、彼女と執事を正規の手続き、つまり裁判にかけける。そして証人として法廷に立った男こそ、学校の教師であった。教師は気付いていた。彼女が国家転覆を企てた分家の娘であること。彼女と似ても似つかない「保護者」が執事であること。そして、彼女、およびその執事に、国家、すなわち本家が多額の懸賞金を賭けていたことを。正規な手続きとは名ばかりの裁判は、彼女が分家の子供であることと2人の死罪を告げてガベルが叩かれた。刑はすぐに執り行われた。広場の見世物に群がる市民らに、騒動の終わりに安堵する本家の者たち、そして大金を手にし豪勢な蜜を嚙る「元」教師。大勢の目線は、処刑執行役の兵士らの矢先と同じ、隣にされた2人を向いていた。だが、群衆の誰一人、それは2人が分家の末裔や執事であると気付いただけの元教師はもちろん、裁判を執り行った裁判官や、分家抹殺を図り噂を流した本家の者、そして長く一緒におり、今こうして共に隣にされている彼女ですら、知らなかった。その視線の先にいる、分家の生活を支えその後も彼女を育て上げ、両手足を縛られながら理解のできない言葉でぶつぶつと恨言を吐く男が、かつて史上最高と謳われた高等魔術使いのメイジの一人であったことを。兵士らによって矢が構えられた時、空に無数の火球が出現。そのまま広場を、群衆を飲み込んだ。構えられた矢は力なく兵士らの足元へと降り注ぎ、それを踏むように人々は火の海から逃げ惑った。隣は執事の魔法により解かれ、2人は自らは生き延びようとする群衆のうちに姿を消した。国はその後、一連の騒動で弱ったところを周辺各国に狙われ滅亡した。周辺各国は、今まで崩ずに崩せなかった競合国の凋落に表面上は喜び2人を讃えたが、一国を滅した力に恐れ慄き、2人の暗殺に動いている。混乱から命からがら逃げた本家の人間もまた、自分たちを下落させた恨みから、蓄えられた財を2人に刺客